

# 聖火リレー25市町村

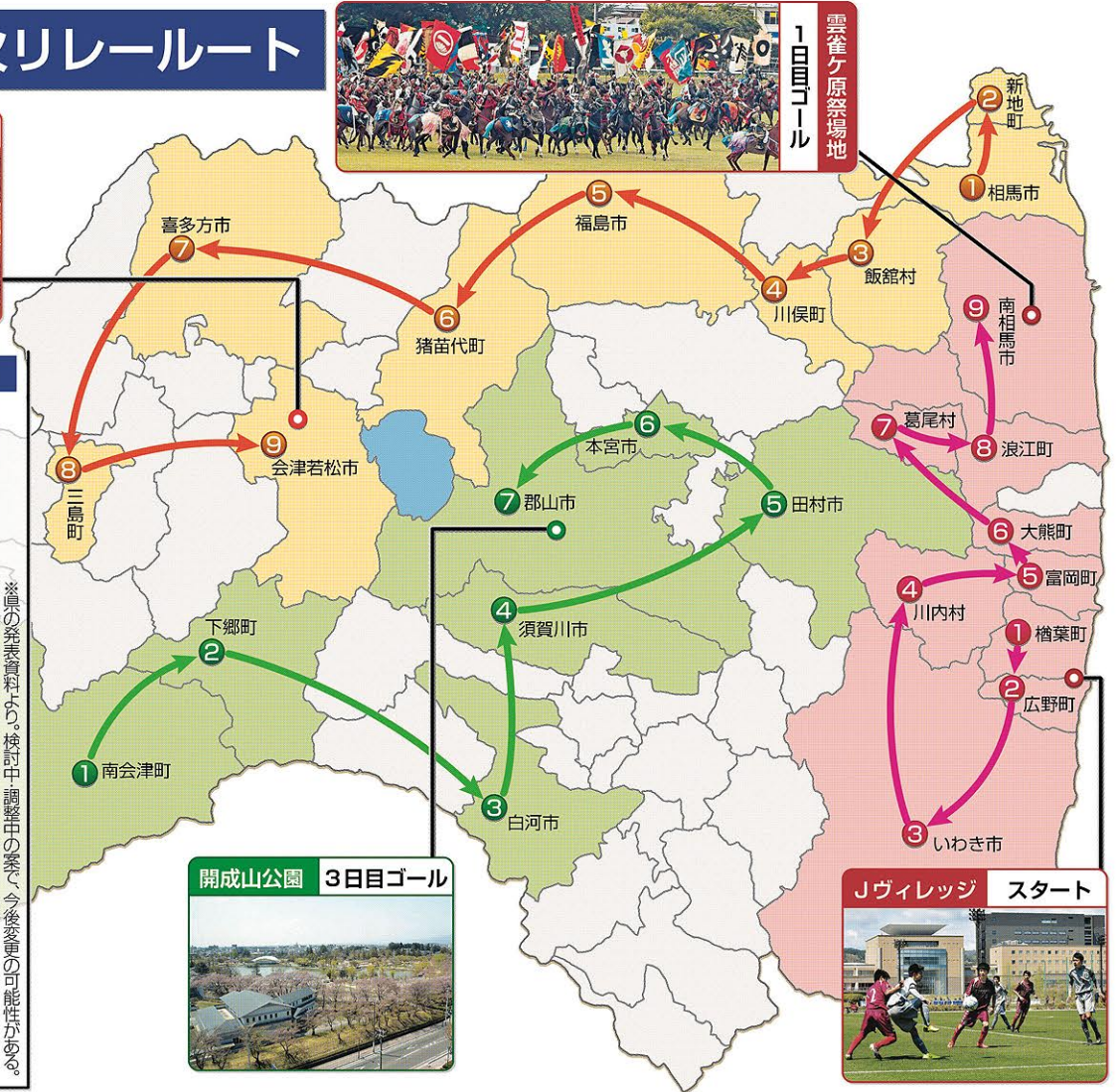
## 県内の聖火リレールート



雲雀ヶ原祭場地  
1日目ゴール



鶴ヶ城 2日目ゴール



### 県内聖火ルートの特徴

1 津波被災地と原発事故の避難地域の現状発信

- 1 2 Jヴィレッジ
- 2 ふたば未来学園
- 6 大川原地区
- 9 雲雀ヶ原祭場地

2 津波被災地と原発事故の避難地域の現状発信、景勝地・観光地

- 2 釣師防災緑地
- 4 山木屋地区
- 6 磐梯山・猪苗代湖
- 7 蔵のまち
- 8 第1只見川橋梁
- 9 鶴ヶ城

3 景勝地・観光地、五輪ゆかりの地

- 2 大内宿
- 3 小峰城
- 4 円谷幸吉ゆかりの地
- 5 郡路地区
- 7 旧郡山市役所
- 7 開成山公園

※県の発表資料より、検討中調整中の案で、今後変更の可能性がある。

## 東京五輪 ルート決定 ■ 3月26日から3日間

東京五輪の聖火リレーが来年3月26〜28日に県内25市町村で行われることが決まった。大会組織委員会が1日、ルート概要を発表した。「復興五輪」の開催理念のもと、東日本大震災、東京電力福島第1原発事故で甚大な被害の出た大熊町や浪江町、飯館村など浜通りを中心にルートに組み込み、福島の復興を世界にアピールする。通過する道路など詳細なルートは年末ごろに発表する。

全面再開したサッカー施設のJヴィレッジ(檜葉町、広野町)が47都道府県の出発地となる。双葉町は調整が続いており、避難指示の一部解除などで環境が整えば、聖火リレーを行う。

初日は浜通りを中心に津波被災地や双葉郡などを通る。2日目は相馬市を出発し本県を横断、会津に抜ける。28日は南会津町から県南、県中を通り、郡山市で終了する。市町村間は車両で聖火を運ぶ。組織委は1日当たり80〜90人で聖火をつなぐことを検討している。

